

社会調査演習 I

松山東雲女子大学人文科学部心理子ども学科の専門教育科目である「社会調査演習 I」では、社会調査の手法を実践的に学ぶとともに、その調査のスキルを生かして、地域の課題に向き合い、その課題解決に取り組んでいます。愛媛中予地方局との包括連携協定により、これまで久万高原町の活性化をテーマに課題解決型学習を実践しています。

シラバス

年度： 2023

Page. 1

教育課程	人文科学部 心理子ども学科 心理福祉専攻		
授業科目名	社会調査演習 I		
英語科目名	Seminar in Social Research I		
科目ナンバリングコード	P3C19E		
学年	3年	開講学期	後期
授業方法	演習	遠隔授業	
単位数	2	曜日/時限	後-火-4
担当教員	森 日出樹、善本 裕子		

実務家教員

アクティブラーニング型科目

「ディスカッション・ディベート」「グループワーク」「プレゼンテーション」「フィールドワーク」「PBL」

ディプロマポリシーにかかわる項目

〈心理福祉専攻〉

3. 科学的、多角的、体系的に「こころ」や「社会」を捉え、分析することができる。
7. 高い倫理観をもって、多様な人々と協働し、社会の課題解決に向けて進んで行動することができる。

授業の到達目標

- ・ 社会調査を実施することができる。
- ・ 特に、調査企画から調査の実施に至る過程を自ら企画・実施することができる。
- ・ インタビュー結果等の質的データを分析することができる。

授業の概要

「社会調査演習Ⅱ」と合わせて、社会調査の全過程を学修する。調査テーマと内容は以下の通りである。
調査テーマ：「愛媛県の過疎地域における地域活性化に向けての取り組みと課題」（具体的な調査対象地域は久万高原町あるいは愛南町を予定。）
内容：①調査対象地域についての資料・情報収集、②調査の企画・仮説構成、③調査項目の設定、④調査対象者の選定、⑤インタビューの準備、⑥調査の実施（インタビュー調査）、⑦フィールドノート作成、⑧質的データの分析、⑨調査結果の発表、⑩調査票調査の質問項目の検討
授業はグループワークで進めていく。

授業計画

実施回	授業内容
第1回	オリエンテーション
第2回	調査対象地域についての資料・情報収集①
第3回	調査対象地域についての資料・情報収集②
第4回	調査の企画・仮説構成
第5回	調査対象地域の情報収集の結果と各自の調査企画・仮説（調査テーマ）についての発表
第6回	調査項目の設定
第7回	調査対象者の選定
第8回	インタビューの準備①
第9回	インタビューの準備②
第10回	調査の実施とフィールドノートの作成①
第11回	調査の実施とフィールドノートの作成②
第12回	質的データの分析
第13回	調査結果のプレゼンテーション（中間報告）①
第14回	調査結果のプレゼンテーション（中間報告）②
第15回	振り返りと後学期の調査票調査に向けての質問項目の検討
補足	第1回～第15回：森・善本にて担当

テキスト

資料配布 あり

参考書（購入する必要はないが推奨する図書）

シラバス

年度: 2023

Page. 2

履修条件・受講上の注意事項

1. 「社会福祉調査論」「社会調査法」を履修していることが望ましい。
2. 学外関係者を対象とした現地調査を実施するため、また、調査過程で様々な共同作業が必要になるため、各自が自覚と責任をもって授業に取り組むことが強く求められる。

試験や課題等に対するフィードバック

課題は主にGoogle Classroomを通して出す。課題や発表に関するフィードバックは、Google Classroomを通して、あるいは、授業時間中に行う。

成績評価方法・基準

評価項目	評価配分(%)	備考
授業に取り組む姿勢・態度	20	
課題の提出物	20	
発表とレポート	60	

授業時間外学修に関わる情報（事前・事後学修）

毎回の事前・事後学修時間の目安は3時間。次回の作業のための準備や課題作成を各自行い、Google Classroomで提出、あるいは、授業でその成果を報告する。

その他

特になし。